

機械工学開設75周年記念事業参加のご報告

2026年2月28日(土)15時より、1950年(昭和25年)に開設されました母校の機械工学科75周年記念シンポジウム・祝賀会に参加いたしました。

シンポジウム会場は、新しく建て替えられた5号館6階の図書館ラーニングコモンズ(学生の自学自習室として利用する等の多目的エリア)で、“学科の未来に向けての更なる飛躍への提言”をテーマとして開催されました。はじめに、恩師の北條勝彦先生(大阪工業大学名誉教授)から「ミレニアム黎明期の機械工学科」と題した基調講演が行われ、第一期生の卒業から2025年3月までに学部卒者15,533名、大学院修了者6,394名となっていることなど、大変興味深い内容が紹介されました。その後、牛田俊教授(ものづくりセンター長)からは、正課および課外活動における課題解決型総合演習科目などのものづくり教育の具体的な内容についてご報告を頂きました。OB参加者の中には、学科の教育目標等の現状が判りやすく理解できたとの声も多く寄せられました。引き続き、パネルディスカッションに移り、上辻靖智教授(工学部長)より大学・学科の将来ビジョンについて説明いただきました。また、吉田準史教授(機械工学科長)には、学生代表からも登壇しハイレベルな少人数クラス(研究推進クラス)や学生プロジェクト活動での実体験などについてご報告頂きました。その後、メカラボ、モノラボ、モノラボアネックスなどの本学の売りの一つである比較的新しい教育施設・設備を学科の先生方の案内で見学し祝賀会場に臨みました。

吉田学科長の主催者挨拶に始まり、西村泰志学園理事長、井上晋工大学長の来賓祝辞に続きまして、川田裕学園理事の乾杯により開宴となりました。今回は、第5期生1959年(昭和34年)卒業の大先輩から、第45期生1999年(平成11年)卒業の同窓生40名がホームページや同窓会役員の呼びかけにより、遠くは四国からも参加者がお越しください、母校(教室)に対する帰属意識と会友同士の絆の強さを改めて実感いたしました。一方で、退職された恩師の皆さまと久しぶりにお会いできる機会でありましたが、望んでいた恩師のご参加が極端に少なかったことは残念でございました。

なお、竜の子・Mの会からのご参加は、来賓の前田親良先生をはじめ、鳥井さん、菊川さん、中山さん、池田の計5名でございました。次回お会いできる機会は、5月30日(土)16時より梅田キャンパスにて、「Mの会10000日総会」および「2026年度竜の子・Mの会総会」を開催いたします。総会・懇親会の前には梅田キャンパスの見学も予定しておりますので、万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。



2026.2.28 大阪工業大学工学部機械工学科創設75周年記念祝賀会